

ご使用に際してこの添付文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第2類医薬品

—— 顔の乾燥による肌トラブルに ——

乾燥性皮膚治療薬

(販売名) 近江兄弟社メンタームEXソフトHクリーム

特徴

- 乾燥によるかゆみ、粉ふき、ガサガサといったデリケートなお顔の肌トラブル治療薬です。
- カサついて、かゆい肌には乾燥対策とかゆみ対策が必要ですが、近江兄弟社メンタームEXソフトHクリームは、肌細胞を修復し角質にうるおいと柔軟性を与えるヘパリン類似物質、かゆみを抑えるジフェンヒドラミンを配合。さらにアラントインが肌の修復を促し、トコフェロール酢酸エステルが血行をよくして、なめらかな肌へと導きます。

ヘパリン
類似物質

修復と
潤い

アラントイン

修復
作用

ジフェン
ヒドラミン

かゆみ
止め

トコフェロール
酢酸エステル

血行
促進

デリケートなお顔を考えた処方、お子さまにも

アルコール
(エタノール)フリー

尿素無配合

無香料

無着色

非ステロイド

こんな
肌に



ガサガサ



粉ふき



かゆみ

(→裏面に続きます。)

△ 使用上の注意

⊗ **してはいけないこと** [守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります]

次の人は使用しないでください。

- (1) 出血性血液疾患（血友病、血小板減少症、紫斑病など）の人
- (2) わずかな出血でも重大な結果をきたすことが予想される人
（血液凝固抑制作用を有し出血を助長するおそれがあります）
- (3) アトピー性皮膚炎の人（軽い症状であっても医師の下で適切な治療を受ける必要があります）



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (3) 潤滑やただれのひどい人
 - (4) 医師からアトピー性皮膚炎と診断されたことのある人
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ

3. 5～6日間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果 かゆみを伴う乾燥性皮膚（成人・老人の乾皮症、小児の乾燥性皮膚）

用法・用量

1日1～数回、適量を患部に塗布してください。

次の注意事項を守ってください

- (1) 定められた用法・用量を守ってください。
- (2) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (3) 目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
- (4) 本剤は外用にのみ使用し、内服しないでください。

成分・分量（1g中に次の成分を含みます。）

成分	分量	働き	※添加物として、セタノール、ステアリルアルコール、白色ワセリン、スクワラン、流動パラフィン、ミリスチン酸イソプロピル、ジメチルポリシロキサン、ポリソルベート60、自己乳化型モノステアリン酸グリセリン、ポリオキシンエチレン硬化ヒマシ油、グリセリン、プロピレングリコール、ヒドロキシエチルセルロース、クエン酸水和物、エドト酸ナトリウム水和物、メチルパラベンプロピルパラベンを含有する。
ヘパリン類似物質	3mg	血行促進・皮膚保湿作用があり、乾燥肌、角化症に効果があります。	
ジフェンヒドラミン	10mg	皮膚のかゆみをしずめます。	
アラントイン	2mg	皮膚組織の修復を促します。	
トコフェロール酢酸エステル	5mg	血行を促進し、症状の回復を早めます。	

保管及び取扱い上の注意

- (1) 高温・直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。（誤用の原因になったり、品質が変わります。）
- (4) 本剤のついた手で、目や粘膜に触れないでください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく早く使用してください。

お問い合わせ 株式会社 近江兄弟社

お客様相談室 TEL.0748-32-3135

受付時間：午前8:30～午後5:30（土、日、祝日を除く）

発売元 株式会社 近江兄弟社 滋賀県近江八幡市魚屋町元29

製造販売元 万協製薬株式会社 三重県多気郡多気町五柱1169-142

副作用被害救済制度のお問合せ先

(独) 医薬品医療機器総合機構

http://www.pmda.go.jp/

(フリーダイヤル) 0120-149-931